

## 駐車支援/自動駐車システム世界市場の調査を実施（2017年）

— 欧州を中心に駐車支援システムの搭載が進み、2020年頃自動駐車システム実用化始まる —

### 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて駐車支援/自動駐車システムの世界市場について調査を実施した。

1. 調査期間: 2017年3月～6月
2. 調査対象: 自動車メーカー、カーエレクトロニクスメーカー等
3. 調査方法: 当社専門研究員による直接面談、電話・e-mailによるヒアリング、ならびに文献調査併用

#### < 駐車支援/自動駐車システムとは >

駐車支援システムは、ステアリング操作のみを自動化し、アクセルやブレーキ、シフトレバーについてはドライバー（運転者）が操作する必要のあるシステムであるが、ドライバー監視下で、ステアリング、アクセルやブレーキ、シフトレバーの全てを自動化する駐車支援システムの実用化も始まっている。なお、同システムには、リモートパーキングシステムを含む。一方、自動駐車システムはドライバーの監視が不要であり、ドライバーの降車後にシステムが駐車可能スペースを検出し、無人で自動駐車をする（パレーパーキング）システムである。

なお、市場規模は駐車支援、および自動駐車システムともに、搭載台数ベースで算出している。

### 【調査結果サマリー】

#### ◆ 2016年における駐車支援システムの世界市場規模は455万2,550台に拡大

2016年における駐車支援システムの世界市場規模は、前年比28.1%増となる455万2,550台に拡大した。超音波センサ、もしくはカメラで車両周囲の状況を検知して、ステアリング操作のみを自動化したシステムが大部分を占める。一部の高級車では、2016年からステアリングだけでなく、ブレーキやアクセルも自動化した駐車支援システムの採用が始まっており、降車後にドライバー（運転者）が遠隔操作で駐車可能なリモートパーキングシステムの搭載も進んでいる。

#### ◆ 駐車支援/自動駐車システムの世界市場規模の2015年から2020年までの

年平均成長率(CAGR)は28%で推移し、2020年には1,222万7,100台の成長を予測

駐車支援および自動駐車システムはミドルクラス以上を中心に搭載が進み、2020年の世界市場規模は1,222万7,100台まで拡大し、2015年から2020年までの年平均成長率(CAGR)は28%で推移すると予測する。ドイツ自動車メーカーを中心に駐車支援システムの搭載率が高い欧州が市場を牽引し、2020年頃にはドライバーの監視が不要になる自動駐車システムの実用化もカーシェアリング車両で始まるものとみる。

#### ◆ 2025年の自動駐車システムの世界市場規模は822万3,000台を予測

2020年以降、自動駐車システムの搭載は高級車で進み、駐車支援システムの設定車種もミドルクラスだけでなくコンパクトクラスに広がる。また、カーシェアリング車両での需要を中心に拡大し、2025年の駐車支援および自動駐車システムの世界市場規模は3,852万3,000台に達し、そのうち自動駐車システムは822万3,000台に成長すると予測する。

#### ◆ 資料体裁

資料名：「自動駐車システム・電子ミラーの可能性と市場展望 2017」  
 発刊日：2017年6月30日  
 体裁：A4判 111頁  
 定価：130,000円（税別）

#### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地: 東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長: 水越 孝

設立: 1958年3月 年間レポート発刊: 約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL: 03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

## 【 調査結果の概要 】

### 1. 2016年の市場概況

駐車支援システムは、ステアリング操作のみを自動化し、アクセルやブレーキ、シフトレバーについてはドライバー（運転者）が操作する必要があるシステムで、現在、広く普及している。また、ドライバー監視下で、ステアリング、アクセルやブレーキ、シフトレバーの全てを自動化する駐車支援システムの実用化も始まっている。なお同システムにはドライバー降車後に専用キーやスマートフォンで遠隔操作して車両を駐車することが可能なリモートパーキングシステムを含む。

一方、自動駐車システムはドライバーの監視が不要であり、ドライバーの降車後にシステムが駐車可能スペースを検出し、無人で自動駐車をする（バレーパーキング）システムである。自動駐車における走行時は無人の自動走行のため、走行時に障害物などを回避する機能なども備える。

2016年の駐車支援および自動駐車システムの世界市場規模は、前年比28.1%増の455万2,550台に拡大した。現在はステアリング操作のみ自動化している駐車支援システムが中心であり、駐車支援の認識方法<sup>※</sup>は欧州では超音波センサ、日本ではサラウンドビューカメラ（車両のフロントリヤ、左右のサイドミラーに搭載された4個のカメラ）が中心である。

しかし、トヨタ自動車が2015年末発売のプリウスから超音波センサによる駐車支援システムの採用を開始しており、今後はコスト面で有利である超音波センサによる駐車支援システムが増加するものとみる。

また、2015年末から2016年にかけて、TESLA Model SやBMW 7シリーズ、M-Benz Eクラスでは、ステアリングだけでなくアクセルやブレーキ、シフトレバーを自動化したフルオートの駐車支援システムを採用している。さらに、リモートパーキングシステムの実用化も上記3車種で始まっている。

※駐車支援の認識方法はカメラ、超音波センサが使用されているが、日本ではカメラ、欧州では超音波センサで認識するシステム開発が進展している。日本では概して駐車場内に白線が整備されていることから、カメラが白線を検知して駐車スペースを認識するシステムが主流である。一方で欧州では超音波センサが別の駐車車両などを検知してその間の空間を駐車スペースとして認識するシステムが採用されている。

### 2. 2020年、2025年の市場規模予測

駐車支援および自動駐車システムはミドルクラス以上を中心に搭載が進み、2020年の世界市場規模は、1,222万7,100台に成長すると予測する。内訳は駐車支援システムが1,215万4,600台、自動駐車システムが7万2,500台である。2020年以降は駐車支援システムの設定車種はミドルクラスだけでなくコンパクトクラスに拡がり、自動駐車システムの搭載は高級車で進むものとみる。

#### 2-1. 駐車支援システム

今後、欧州市場、日本市場を中心に2020年に向けて超音波センサを採用した駐車支援システムの搭載車種が拡大する。特に欧州市場では、超音波センサの搭載率が高く、またシステムのコストダウンが進むことから、ステアリングのみを自動化した駐車支援システムがミドルクラスを中心に拡大する。2020年以降、高級車はフルオートの駐車支援システムの搭載車種が増加するが、コンパクトクラスについてはステアリングのみを自動化した駐車支援システムが中心になる。

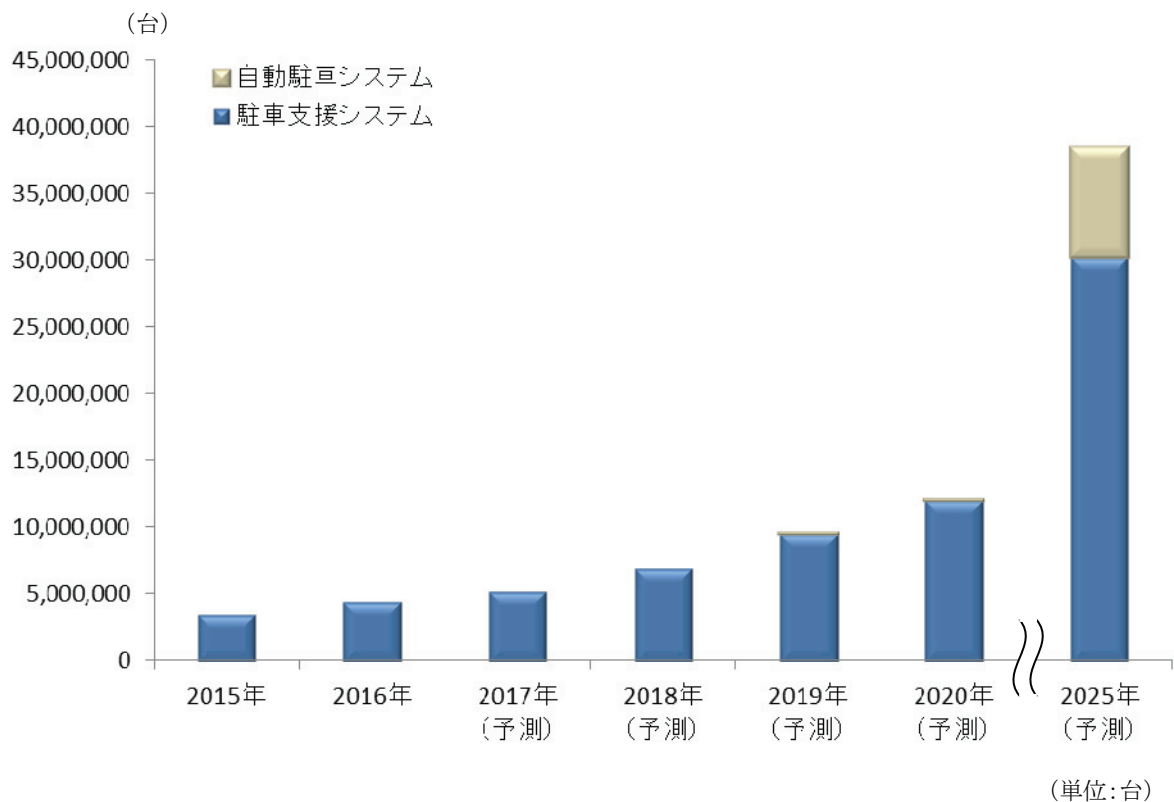
日本市場については、超音波センサによる駐車支援システムの採用が増加し、自動運転システムを搭載するレベル2以上の車両においてはフルオートの駐車支援システム、リモートパーキング機能の搭載が始まるとみる。軽自動車については、EPS（電動パワーステアリング）のモータトルクが小さいために、駐車支援機能におけるステアリングの自動化が難しいとされることから、採用車種は限定的であると想定される。

一方、米国市場では郊外を中心に駐車スペースが広い場所も多く、またピックアップトラックやバンの販売台数も多いことから、欧州や日本と比較すると駐車支援システム搭載ニーズ自体が低いものとみられる。

## 2-2. 自動駐車システム

ドライバーの監視が不要となる自動駐車システムの実用化は 2020 年以降に高級車で進展すると予測する。初期導入時は、カーシェアリングサービスで使われる車両とみられ、自動運転システムを搭載するレベル 4 以上のものの可能性が高いと考える。すでに、欧州ではドイツ自動車メーカーを中心に、駐車施設の通信インフラと地図データを活用した自動駐車システムの実証実験が始まっており、これにはカーシェアリングサービス事業者、自動車メーカー、カーエレクトロニクスメーカーが参加している。2020 年頃の市場投入に向け、カーシェアリング乗降車場と駐車スペースに限定した自動駐車システムの実用化を目指している。一方、一般の量産車については、家とガレージ(車庫)のような近距離で、且つ限定された空間での自動駐車システムの採用が高級車を中心に始まるものとみる。

図表 1. 駐車支援/自動駐車システムの世界市場規模予測



	2015年	2016年	2017年 (予測)	2018年 (予測)	2019年 (予測)	2020年 (予測)	2025年 (予測)
駐車支援システム	3,555,220	4,552,550	5,324,100	7,004,900	9,574,000	12,154,600	30,300,000
自動駐車システム	0	0	0	0	30,000	72,500	8,223,000
世界市場規模(合計)	3,555,220	4,552,550	5,324,100	7,004,900	9,604,000	12,227,100	38,523,000
前年比	-	128.1%	116.9%	131.6%	137.1%	127.3%	-

矢野経済研究所推計

注1. 駐車支援、および自動駐車システム搭載台数ベース

注2. 2017年以降予測値